



のむらだより



発行所 ● 医療法人社団 秀和会 野村医院 〒660-0823 尼崎市大物町1丁目9-25 TEL:06-6481-4207 FAX:06-6401-6392 http://www.shuwakai-nomura.or.jp/ 発行人 ● 平野 学



寒もち食べて 一年元気に！

ハウスのむらもちつき大会



二月二十八日(土)、ハウスのむらでは昨年に続いて二回目となる、もちつき大会を開催しました。当日は天候に恵まれ、春の陽気となり、絶好のもちつき日和でした。参加者が百七十人も集まり大盛況の中、今回もボランティアのみなさんの大活躍で、あんど・大根おろし・きな粉



大物町会長よりあいさつ

・砂糖醤油の四種類のもちがどんどん出来あがり、とん汁と一緒においしくいただきました。今回で三回目の出演となる、なにわのおっさんバンド「Nティーズ」の演奏が、もちつき大会をよりいっそう盛り上げました。終始楽しい雰囲気の中、みなさんのご協力で、何事もなく無事に終了することができました。

総務 楠 良寛



恥ずかしくない生き方を

みさき漁

ふれあい

●金子兜太さん(朝日新聞 俳壇の選者・九十五歳)の養生訓(白水社発行)を拾い読み。この方は無謀な戦争の体験者として、無残に死んで行った人達に代わって、俳句を詠み続けたい、戦後は恥ずかしくない生き方を発信しようという俳句精神の持ち主です。記憶鮮明なところを紹介します。●六十歳の時…①死はいづるかわからぬ、現在ただ今に充実せよ。●七十歳の時…自由平凡な男で生きる。長生きを目標にする。老醜をやらすな。●八十歳の時…(禁煙継続)。平常心。●七時仕事開始(理想六時) 励行●八十歳の時…①自由平凡な男で生きる。②長生きを人生の目標にする。③老醜をさらすまいと心がける。●今は毎日、座禅ではなく立禅を実践して、足腰の筋力維持に努める、併せて亡くなった友人・知人約一二〇〇〜一三〇〇人の名前を繰り返し読み上げていくのだそう。忘れたら、思い出すまで頑張るのだそう。一種の集中力を落とさない、気力を充実する生活習慣には脱帽です。●大先輩の元気を参考にして、まずは春を愛でて、長生きを目指す。結果として平和で暮らし易い社会を求め、「戦争できる」国を推進する人達を追い詰めたいです。(S・Y)